

FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

CDX-C9000



警告

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- ・ 運転者は走行中に操作をしない。
- ・ 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

2

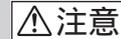
警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



目次

⚠警告・⚠注意 4

本機だけでできる操作

▶ 準備

- まず、本機をリセットする 6
- 時計を合わせる 7
- 放送局を自動で登録する 8
- ロータリーコマンドラーのラベルを貼る 9
- SHIFTボタンについて 9

▶ ここだけ読んでも使えます

- CDを聞く 10
- ラジオを聞く 13

▶ CD

- 聞きたい曲を好きな順番で聞く
(プログラム) 15
- プログラムを変える 18

▶ ラジオ

- 特定の放送局を登録する 20
- 放送局に名前をつける 21
- 放送局を名前で探す(リスト) 23

▶ その他の操作

- ロータリーコマンドラーの操作 24
- 音質や音のバランスを調節する 26
- 音や表示などの設定を変える 27

付録

- 使用上のご注意 49
- 各部のなまえ 50
- 故障かな? 52
- 保証書とアフターサービス 55
- 主な仕様 56
- 索引 57

別売りの機器を接続すると

▶ CD/MD

- チェンジャー内の
CD/MDを聞く 28
- 聞きたいディスクを選ぶ 29
- 繰り返し聞く(リピート) 29
- 曲順を変えて聞く(シャッフル) 30
- CDに名前をつける(ディスクメモ) 31
- 聞きたい曲だけを選ぶ(バンク) 33
- ディスクを名前で探す(リスト) 35

▶ DSP

- サラウンド効果を選ぶ 36
- サラウンド効果の反射音・
残響音を調節する 37
- CDごとにサラウンド効果を登録する
(DSPカスタムファイル) 38
- リスニングポジションを選ぶ 39
- 前後のスピーカーバランスを調整する 41
- サブウーファーの音量を調整する 42
- 低音・高音の音量を調節する 43
- 前回と同じサラウンド効果で聞く 44
- ラインアウトのレベルを選ぶ 44

▶ テレビ・ビデオ

- テレビを見る 45
- ビデオを見る 46
- ラジオ局・テレビ局の一覧を見る 46
- CD/MDの情報を見る 47

▶ CD/CD-ROM

- 音声を切り換える 48

準備

ここだけ読んでも
使えます

CD

ラジオ

その他の操作

CD/MD

DSP

テレビ・ビデオ

CD/CD-ROM

付録



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



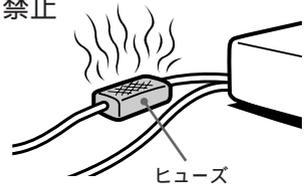
内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



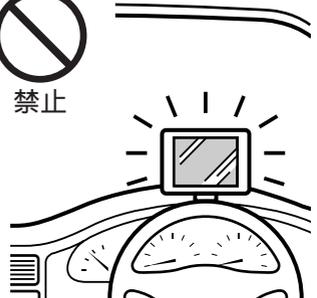
規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となることがあります。



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

カセットテープやディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



禁止

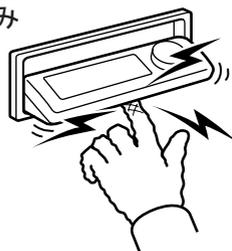


フロントパネルを閉めるとき手を入れない

フロントパネルに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



指挟み



はじめに

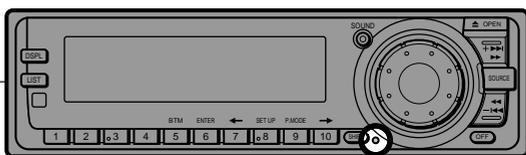
本機では、CDとラジオを聞くことができます。付属のロータリーコマンドャーを使って手で簡単に操作することができます。

別売りの機器をつないだ場合も本機のボタンで操作できます。以下の機器が組み合わせられます。

- CDチェンジャー、MD(ミニディスク)チェンジャー
カスタムファイル機能がCDチェンジャーで、プログラム機能がプログラム演奏機能付きCD/MDチェンジャーで可能。
- テレビチューナー、ビデオ
- デジタルプリアンプ
- FM文字多重放送ディスプレイユニット

この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのCD/MDチェンジャー、XDP-U50D、テレビ、ビデオを接続した場合の操作方法についても説明しています(28ページ～)。

まず、本機をリセットする



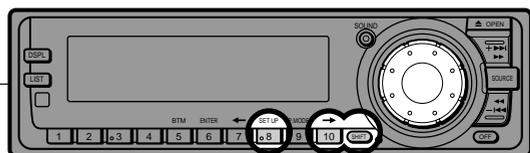
初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押す。

ご注意

リセットボタンを押した後、10秒間はCDを入れないでください。10秒以内にCDを入れるとリセットされません。もし入れたときはもう一度リセットし直してください。

時計を合わせる

準備



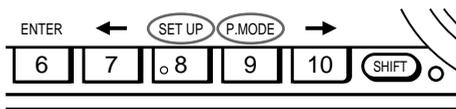
SET UP (セットアップ)

1 車のイグニッションキーをONにする。

SHIFT

2 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示がでます。



SET UP

8

3 数字ボタン8 (SET UP)を押す。

Set up
Clock

→

10

① 数字ボタン10(→)を押す。

Set up
00

② ダイヤルで「時」を合わせる。(時計は12時間表示)

Set up
10:00

→

10

③ 数字ボタン10(→)を押す。

Set up
10:00

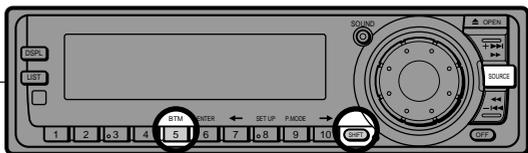
④ ダイヤルで「分」を合わせる。

Set up
10:08

SHIFT

3 最後に、SHIFTボタンを押す。

放送局を自動で登録する



受信できる局を数字の1～10ボタンに自動的に登録します。FMまたはAMのバンドでそれぞれ10局ずつ登録できます。テレビ放送(1～3チャンネル)は、FM90.0MHzの次にあります。



1 SOURCEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。



2 SHIFTボタンを押して「BTM」を表示する。



3 数字ボタン5(BTM)を押す。

「B.T.M.」(ベストチューニングメモリー)と表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。



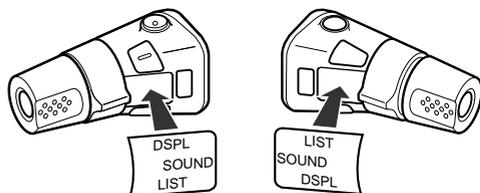
4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

- ・ 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- ・ 表示窓に登録番号が表示されているときは、それ以降の数字ボタンに放送局が登録されます。

ロータリーコマンドーのラベルを貼る

本機にはロータリーコマンドーが付属しています。ロータリーコマンドーの取り付けについては別冊の説明書を、操作については「ロータリーコマンドーの操作」(24ページ)をご覧ください。



ロータリーコマンドーを取り付けた位置に合わせてラベルを貼る。

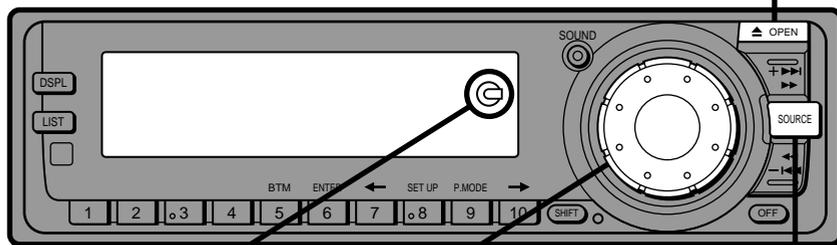
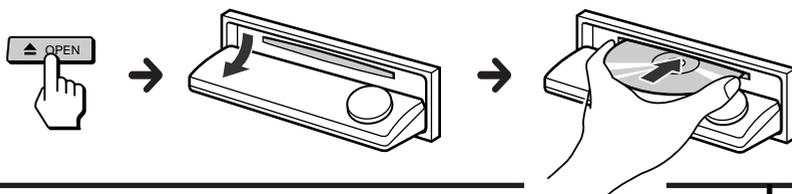
SHIFTボタンについて

本機を操作するとき、SHIFTボタンを押すと、1～10のボタンは、上に機能表示が出て各機能の操作ボタンに変わります。

各設定等を行った後はSHIFTボタンを押してもとに戻します。

CDを聞く

CDを入れると再生が始まります



ディスクが入っているときに表示する

ラジオ受信のときなどでも表示します。

音量を調節する

CDが入っているときに押して「CD」表示にすると再生が始まる

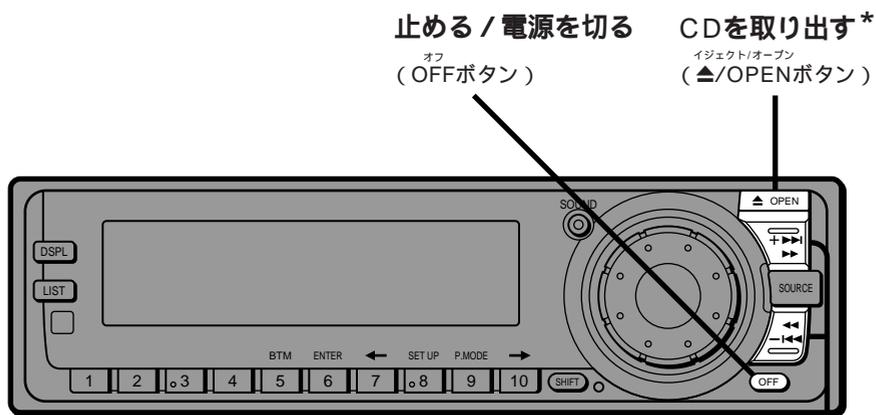
ソース (SOURCEボタン)



8cmCDについて

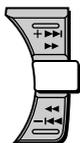
本機では8cmCDをアダプターを使わずに再生できます。

8cmCDにシングルアダプターを付けてディスクを再生すると、故障の原因となりますので使用しないでください。



聞きたいところを探す

シーク/エー・エム・エス (SEEK/AMSボタン)



先に進める

前に戻す

押しつづけ、聞きたいところ
で離します。

曲の頭出しをする

シーク/エー・エム・エス (SEEK/AMSボタン)



次の曲へ

前の曲へ

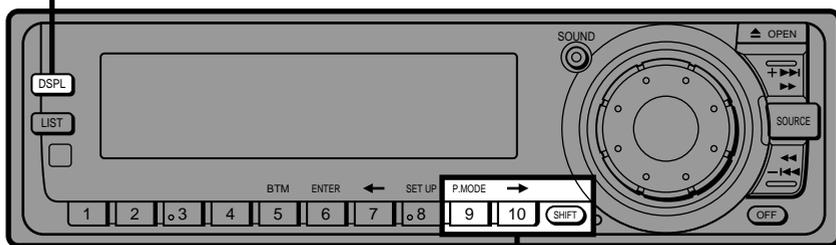
とばしたい曲の数だけ押します。

* ▲/OPENボタンを押した後、挿入口にCDが15秒以上差し込まれたままになっていると、ディスク保護のため自動的にディスクを引き込み停止状態になります(セルフストア機能)。

CDを聞く(つづき)

表示の見かた

時計
CD 10:08
8 1.15 ©
再生経過時間



P.MODE (プレイモード)

いろいろな聞きかた

- ・「Intro」 → 各曲の頭を10秒ずつ再生する。
- ・「Repeat」 → 今の曲を繰り返し再生する。
- ・「Shuf」 → 再生中のディスクのすべての曲を順不同に再生する。

SHIFT

1 SHIFTボタンを押して「P.MODE」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示ができます。
(「SET UP」, 「P.MODE」など)

P.MODE

9

2 数字ボタン9(P.MODE)を押して表示を切り換える。

Intro → Repeat → Shuf

→

10

3 数字ボタン10(→)を押して「on」を表示する。

SHIFT

4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「off」表示にします。

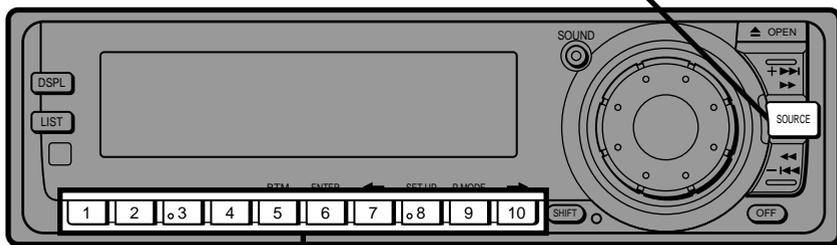
ラジオを聞く

ここだけ読んで
使えます

1 聞きたいバンドに切り換える



押して「FM」または「AM」を選びます。



2 聞きたい放送局のボタンを押す (放送局を登録してあるとき)



登録のしかたについては、8ページ参照。

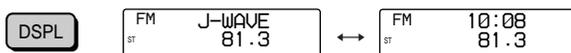
ご注意

SHIFTボタンが押されていて数字ボタンの上に「BTM」および「SET UP」、「P.MODE」表示が出ているときは、数字ボタンで選択はできません。この場合は、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。

ラジオを聞く(つづき)

表示の見かた ディスプレイ (DSPLボタン)

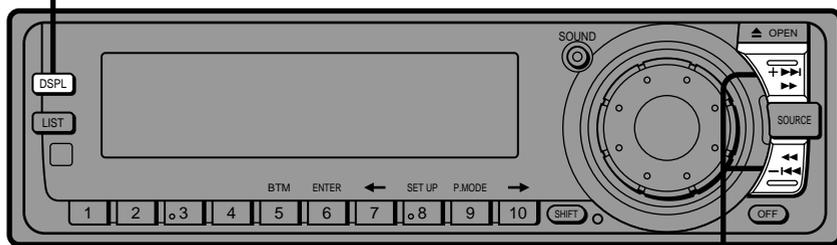
DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



放送局の名前*と周波数

時計と周波数

*名前を登録していないときは、「NO Name」と表示。



ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送を受信すると「ST」と表示されます。放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 SHIFTボタンを押して「P.MODE」を表示する。
- 2 数字ボタン9(P.MODE)を押して「Mono」を表示する。
- 3 数字ボタン10(→)を押して「Mono on」を表示する。
- 4 SHIFTボタンを押す。

旅先などで、登録した局を受からないとき(自動選局を使う)

SEEK/AMSボタンを短く押し離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい局が受かるまで、ボタンを押します。

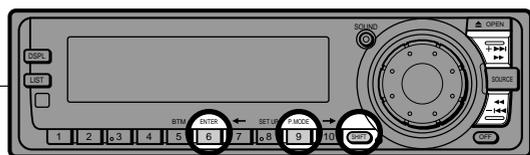


- 聞きたい局がわかっているときは、その局の周波数になるまでSEEK/AMSボタンを押しつづけます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、SHIFTボタンを押してから数字ボタン9(P.MODE)を押して「Local off」表示にします。次に数字ボタン10(→)を押して「Local on」表示にします。「LCL」の表示が出て、比較的電波の強い局だけを受信します。

聞きたい曲を好きな順番で聞く

ここだけ読んで
使えます

CD



プログラム

ディスクの中から好きな曲だけを集めてオリジナルのプログラムを楽しめます。プログラムは、2種類組むことができ(PGM1とPGM2)、それぞれのプログラムで聞きたい順番に12曲まで登録できます。一度登録すると、ディスクを入れ換えても、最初に指定した順番のまま再生されます。

プログラムを登録する

SHIFT

1 SHIFTボタンを押して「P.MODE」を表示する。

P.MODE

9

2 数字ボタン9(P.MODE)を「PGM edit」が表示するまで押す。

CD PGM edit
12 P1.03

PGM1の表示

PGM2に登録したいときは、数字ボタン10(→)を押して「P2」表示にします。



3 SEEK/AMSボタンを押して登録したい曲を再生する。

CD PGM edit
8 P1.01

8曲目をPGM1の1番目に登録するとき

ENTER

6

4 数字ボタン6(ENTER)を短く押して登録する。

P1 PGM edit
+Enter+ → CD PGM edit
8 P1.02

5 手順3と4を繰り返し、聞きたい順番に登録する。

6 数字ボタン9(P.MODE)を2秒以上押す。

P.MODE

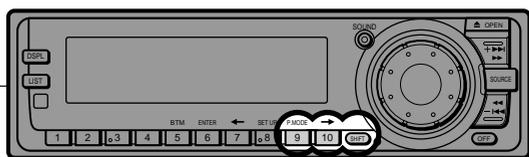
9

7 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

- ・「* Wait *」: 登録した曲の情報を読み取っていない場合に表示されます。
- ・「* Mem full *」: 13曲登録しようとする则表示されます。

聞きたい曲を好きな順番で聞く(つづき)



プログラム

プログラムを聞く

SHIFT

1 SHIFTボタンを押して「P.MODE」を表示する。

P.MODE

9

2 数字ボタン9 (P.MODE)を押して「PGM」表示にする。

→

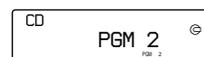
10

3 数字ボタン10 (→)を押して聞きたいプログラムに切り換える。

PGM 1を再生



PGM 2を再生



↑
ふいつうの再生に戻る



↓
PGM 1と2をつづけて再生



4 SHIFTボタンを押す。

ご注意

プログラムが登録されていない場合は、「NO Data」と表示されます。

プログラムを消去するには

- 1 SHIFTボタンを押して「P.MODE」を表示します。
- 2 数字ボタン9(P.MODE)を2秒以上押します。
- 3 数字ボタン7(←)を押して「DEL」表示にします。

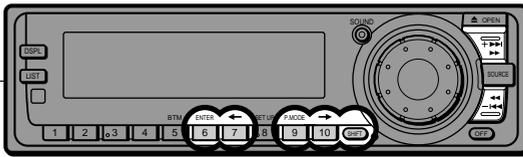


PGM2の場合は
「DEL PGM Edit --PGM2--」

PGM2に切り換えるときは、数字ボタン10を押して
「PGM2」表示にします。

- 4 数字ボタン6(ENTER)を2秒以上押します。
「NO Data」と表示され、指定したプログラムの曲は全て消えます。
- 5 数字ボタン9(P.MODE)を2秒以上押します。
- 6 最後に、SHIFTボタンを押します。

プログラムを変える



プログラム

曲を追加する

SHIFT

1 SHIFTボタンを押して「P.MODE」を表示する。

P.MODE
9

2 数字ボタン9 (P.MODE) を2秒以上押す。

PGM2に追加するとき、数字ボタン10 (→) を押して「P2」表示にします。

←
7

3 数字ボタン7 (←) または数字ボタン10 (→) を押して何番目に曲を挿入するかを表示する。

→
10

CD PGM edit
8 P1.06

PGM1の6番目に追加するとき



4 SEEK/AMSボタンで追加したい曲を選び再生する。

ENTER
6

5 数字ボタン6 (ENTER) を短く押す。

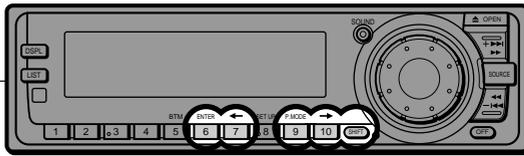
新しい曲が挿入され、それ以降の曲は1つずつずれます。
他の曲を追加するときは、手順3～5を繰り返します。
全体の曲数が12を超えると「*Mem full*」と表示され、それ以上登録出来なくなります。

P.MODE
9

6 数字ボタン9 (P.MODE) を2秒以上押す。

SHIFT

7 最後に、SHIFTボタンを押す。



プログラム

曲を削除する

SHIFT

1 SHIFTボタンを押して「P.MODE」を表示する。

P.MODE
9

2 数字ボタン9 (P.MODE) を2秒以上押す。

PGM2の曲を消すときは、数字ボタン10 (→) を押して「P2」表示にします。

←
7

3 数字ボタン7 (←) または10 (→) を押して消したい曲を表示する。

→
10

CD PGM edit
5 P1.07

7番目に登録されている曲
(ディスクの5曲目)を消すとき

ENTER
6

4 数字ボタン6 (ENTER) を2秒以上押す。

DEL PGM edit
-- P1.07

指定した曲が削除され、それ以降の曲は1つずつ繰り上がります。
他の曲を消すときは、手順2と3を繰り返します。

P.MODE
9

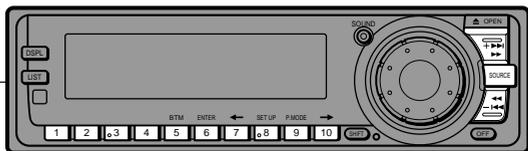
5 数字ボタン9 (P.MODE) を2秒以上押す。

SHIFT

6 最後に、SHIFTボタンを押す。

CD

特定の放送局を登録する



放送局を自動で登録(8ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。すでに登録してある数字ボタンも、他の放送局に登録し直すことができます。道路交通情報(AM1,620kHzまたはAM1,629kHz)を登録しておく便利です。



1 SOURCEボタンを押して登録したい放送局のバンド(FMまたはAM)に切り換える。



2 SEEK/AMSボタンを押して登録する放送局を受信する。

FM	10:08
ST	81.3

1

3 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押す。

10

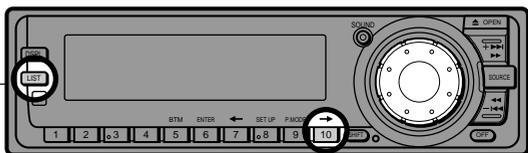
押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。

FM	10:08
ST	1 87.2

ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の局は消えてしまいます。

放送局に名前をつける



放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示できます。最大40の放送局に、8文字までの名前をつけられます。

1 名前をつけたい放送局を受信する。

LIST

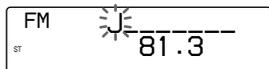
2 LISTボタンを表示が点滅するまで押す。



3 文字を入力する。

① ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→*→/→\→→
→.→_



ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

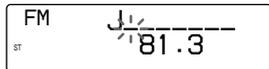
文字の間をあけたいときは、「_」(下線)を入力します。



10

② 文字が見つかったら、数字ボタン10(→)を押す。

次の文字を入力できるようになります。



まちがえたときは、数字ボタン7(←)を押して修正したい文字を点滅させて正しい文字を入れます。

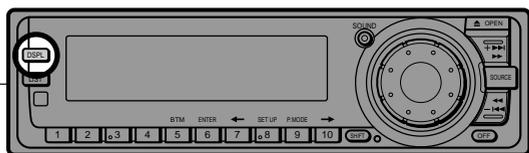
③ 手順①と②を繰り返し、名前を入力する。

4 つづけて他の放送局に名前をつける場合は、その局を受信してから文字を入力する。

LIST

5 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。

放送局に名前をつける(つづき)



名前を表示するには

DSPL

DSPLボタンを押して名前表示にする。

名前を登録していない場合は、「NO Name」と表示されます。

名前を消去するには

1 LISTボタンを押して表示が点滅するまで押します。

2 DSPLボタンを2秒以上押します。

3 ダイヤルを回して消したい名前を表示させます。

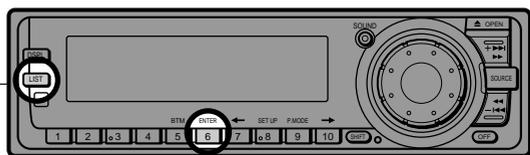
4 数字ボタン6(ENTER)を2秒以上押します。

名前が消えます。

5 LISTボタンを2秒以上押します。

すべての文字に「_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

放送局を名前で探す



リスト

登録した放送局が周波数を見ながら探せます。

放送局に名前をつけておくと(21ページ)、名前が表示されます。

LIST

1 LISTボタンを短く押す。

LST 1▶J-WAVE
2 TOKYO-FM

受信中の放送局の名前が点滅

名前をつけていない場合は、周波数を表示します。

LIST

2 つづけてLISTボタンを押して聞きたい放送局に▶
を合わせる。

DSPLボタンを押したり、ボタンを押さないまま5秒間を過ぎると、
もとの表示に戻ります。

ENTER

6

3 数字ボタン6(ENTER)を押して受信する。

ご注意

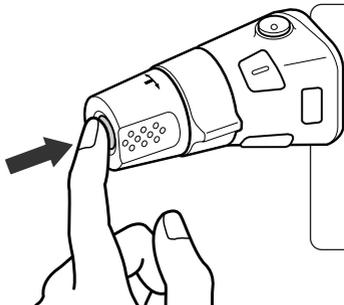
別売りのTVチューナーとTVモニターを接続すると、名前はTVモニターだけ
に表示されます。この場合、上記手順1～3の操作はできなくなり、LISTボタ
ンはリスト表示のON/OFF操作になります。

ラ
ジ
オ

ロータリーコマンドーの操作

CD/MDチェンジャーやテレビ・ビデオは、各機器をつないでいるときだけ操作できます。

押すとソース(SOURCEボタン)

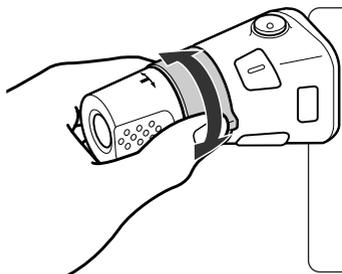


SOURCEボタンを押すと

ソースがFM AM CD1 CD2 MD1 MD2 テレビと切り換わる

ロータリーコマンドーのSOURCEボタンを押すと本体の電源が入ります。

回すとシーク/エーエムエス(SEEK/AMSつまみ)



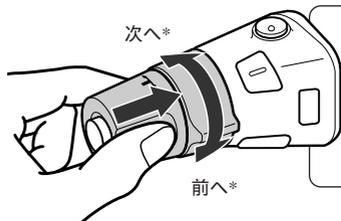
CD/MD... 短く回して離すと曲の頭出しをする

回しつづけると早く送られ、離すと再生に戻る

ラジオ.... 短く回して離すと自動的に局を受信する

回しつづけると特定の周波数を受信する

押しながら回すとプリセット/ディスク(PRESET/DISCつまみ)



CD/MD... チェンジャー内のディスクを切り換える

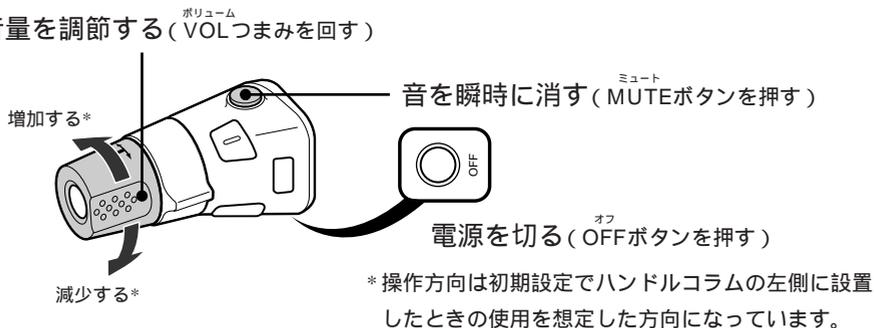
ラジオ... プリセットした局を順に受信する

テレビ... プリセットしたチャンネルを切り換える

*操作方向は初期設定でハンドルコラムの左側に設置したときの使用を想定した方向になっています。

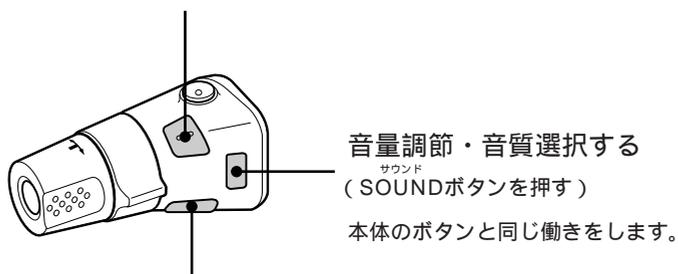
その他の操作

音量を調節する (VOLつまみを回す)



表示を換える (DSPLボタンを押す)

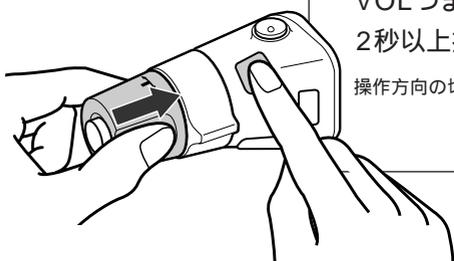
本体のボタンと同じ働きをします。



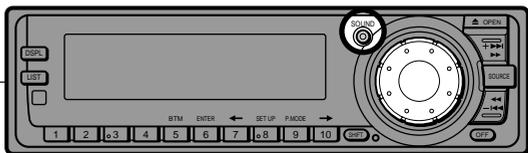
リストを表示する (LISTボタンを押す)

本体のボタンと同じ働きをします。

つまみの操作方向を切り換える



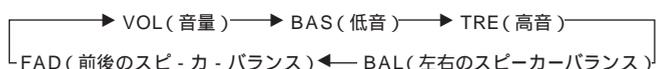
音質や音のバランスを調節する



BAS(低音) TRE(高音)はソースごとに調節できます。



1 SOUNDボタンを押して調節したい項目にする。



2 ダイヤルを回して調節する。

3秒以内にダイヤルを回してください。3秒を過ぎると音量調節 (VOL)に戻ります。



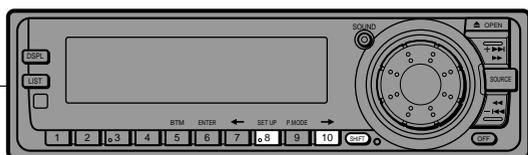
BAS	TRE	BAL	FAD
弱まる	弱まる	左へ移動	後ろ方向へ移動
強まる	強まる	右へ移動	前方向へ移動

高音質で聞きたいときは

表示窓の照明を切ると、より高音質で聞くことができます。

- 1 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示します。
- 2 数字ボタン8(SET UP)を2秒以上押して「DSPL」を表示します。
- 3 数字ボタン10(→)を押して「DSPL off」にします。
ふつうの表示に戻すには、手順3で「DSPL on」を選びます。

音や表示などの設定を変える



SET UP (セットアップ)

次の設定ができます。

- ・「Amber」、「Green」→ 操作ボタンと表示窓の照明の色を変える。
- ・「Beep」 → 操作ボタンを押したときの「ピッ」という音を入・切する。
- ・「Dimmer」 → 表示窓を減光する。
 - 「Auto」 → 車の照明をONにすると表示が減光する。
 - 「on」 → 減光する。
- ・「Loud」 → 小音量でも聞きやすいように音のバランスを補正する。
- ・「RM」 → ロータリーコマンドーのつまみの操作方向を切り換える。
 - 「norm」→ 初期設定の回転方向。
 - 「rev」 → 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。
- ・「Angle」 → フロントパネルを見やすい角度に傾ける。
フロントパネルを傾けると、電源切でフロントパネルが閉まり、電源入で設定した角度になります。
 - 「1」→ 10度傾ける。
 - 「2」→ 20度傾ける。
- ・「Contrast」 → 表示のコントラストを変える。

SHIFT

1 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。

SET UP

8

2 数字ボタン8 (SET UP) を押して調節したい項目に切り換える。

Clock → Amber/Green → Beep → Dimmer → Loud → RM → Angle → Contrast

→
10

3 数字ボタン10(→)を押して調節したい設定にする。

(例: 「on」または「off」)

「Contrast」では数字ボタン10(→)を押すとコントラストが強くなり、数字ボタン7(←)を押すと弱くなります。

SHIFT

4 最後に、SHIFTボタンを押す。

その他の操作

CD/MD

別売りのCDチェンジャーやMDチェンジャーをつないで、CDやMD(ミニディスク)を再生できます。この章では、チェンジャー固有の機能について説明します。

チェンジャー内のCD/MDを聞く



再生中にSOURCEボタンを繰り返し押し続けて聞きたいチェンジャーに切り換える。

CD1(本機)→CD2(CDチェンジャー1)→CD3(CDチェンジャー2)

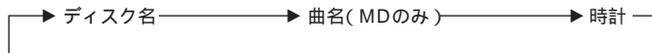
全てのディスクを順に再生します。

チェンジャーを選んだあとは、10～12ページ、15～19ページプログラム機能付きCD/MDチェンジャーのとき)と同じ操作ができます。

表示窓の見かた



再生中にDSPLボタンを押して表示を切り換えます。



- ・「NO Name」: CDに名前をつけていない。
- ・「NO D.Name」: MDにディスク名が記録されていない。
- ・「NO T.Name」: MDに曲名が記録されていない。

MDに録音日時が記録されているときは、再生中にDSPLボタンを2秒以上押すと録音日時が約3秒間表示されます。

長いディスク名、曲名を再び見るにはSHIFTボタンを押してから数字ボタン7(←)を押します。

自動的に長いディスク名をスクロールさせるには

DSPLボタンを押すと、曲名またはディスク名に切り換えたとき、10文字以上の名前を、自動的にスクロールします。

- 1 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示します。
- 2 数字ボタン8(SET UP)を押して「A.Scrl」表示にします。
- 3 数字ボタン10(→)を押して「A.Scrl on」表示にします。
- 4 SHIFTボタンを押します。

通常の表示に戻すには、手順2で「A.Scrl off」表示にします。

聞きたいディスクを選ぶ

1 再生中に聞きたいディスクの番号と同じ数字ボタン1～10を押す。

10

リピート/P.MODE

繰り返し聞く

- ・「Repeat 1」→ 再生中の曲を繰り返す。
- ・「Repeat 2」→ 再生中のディスクを繰り返す。
- ・「Repeat 3」→ チェンジャーを2台以上つないでいる場合は、再生中のチェンジャーの全ディスクを繰り返す。

SHIFT

1 再生中にSHIFTボタンを押して「P.MODE」を表示する。

P.MODE

9

2 数字ボタン9 (P.MODE)を押して「Repeat」表示にする。

→

10

3 数字ボタン10(→)を押して聞きたい設定に切り換える。

▶ Repeat 1 → Repeat 2 → Repeat 3 → Repeat off

リピート演奏が始まります。

SHIFT

4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順2で「Repeat off」表示にします。

曲順を変えて聞く

- ・「Shuf 1」→ 再生中のディスクの曲を順不同に再生する。
- ・「Shuf 2」→ 再生中のチェンジャーの全ディスクの曲を順不同に再生する。
- ・「Shuf 3」→ チェンジャーを2台以上つなげている場合は、全ディスクの曲を順不同に再生する。

SHIFT 1 再生中にSHIFTボタンを押して「P.MODE」を表示する。



2 数字ボタン9 (P.MODE) を押して「Shuf」表示にする。



3 数字ボタン10を押して聞きたい設定にする。



シャッフル演奏が始まります。

SHIFT 4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順2で「Shuf off」表示にします。

CDに名前をつける

カスタムファイル対応のCDチェンジャーの場合

CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。つけた名前はチェンジャー本体に記憶され、CD110枚分を保存できます。カスタムファイルに対応しているチェンジャーを1台つないでいれば、対応していないチェンジャーに入っているCDにも名前をつけられます。

LIST

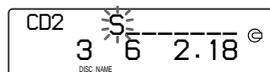
- 1 CDを再生し、LISTボタンを表示が点滅するまで押す。



- 2 文字を入力する。

- 1 ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→*→/→\→→
→.→_



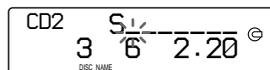
ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

文字をあけたいときは、「_」(下線)を入力します。



10

- 2 文字が見つかったら、数字ボタン10(→)を押す。



まちがえたときは、数字ボタン7(←)を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

- 3 手順①と②を繰り返し、名前を入力する。

LIST

- 3 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。

CDに名前をつける(つづき)

名前を表示するには

DSPL

再生中にDSPLボタンを押して、名前表示にする。

名前を消去するには

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押ししてCDチェンジャーを選びます。
- 2 LISTボタンを表示が点滅するまで押します。
- 3 DSPLボタンを2秒以上押します。
- 4 ダイヤルを回して消したい名前を表示させます。
- 5 数字ボタン6(ENTER)を2秒以上押します。

他に消したい名前があるときは、手順4、5を繰り返します。

- 6 最後に、LISTボタンを2秒以上押します。

すべての文字に「_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

聞きたい曲だけを選ぶ

聞きたくない曲をとばして、お気に入りの曲だけを再生します。この機能を使えるのは、ディスクメモ機能(31ページ)で名前をつけたCDだけです。

聞きたくない曲をとばすように指定する

- SHIFT** 1 CDを再生し、SHIFTボタンを押して「P.MODE」を表示する。



- 2 数字ボタン9(P.MODE)を表示が点滅するまで押す。



- 3 SEEK/AMSボタンを押してとばしたい曲の番号を表示して、数字ボタン6(ENTER)を押す。

表示が「Play」(再生する)から「Skip」(とばす)に変わります。



「Play」に戻すときは、もう1度数字ボタン6(ENTER)を押します。

- 4 手順3を繰り返して設定する。



- 5 数字ボタン9(P.MODE)を2秒以上押す。



- 6 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

- ・「Skip」を設定できるのは24曲目までです。
- ・「Skip」を全曲に設定して、ディスクを丸ごととばすことはできません。

聞きたい曲だけを選ぶ(つづき)

曲をとばしながら聞く

- ・「Bank on」→「Play」と設定した曲だけ再生する。
- ・「Bank inv」→「Skip」と設定した曲だけ再生する。
- ・「Bank off」→ ふうふうの再生。

SHIFT 1 CDを再生し、SHIFTボタンを押して「P.MODE」を表示する。



2 数字ボタン9(P.MODE)を短く押して「Bank」表示にする。



3 数字ボタン10(→)を押して再生のしかたを選ぶ。



ディスクを名前で探す

MDチェンジャーまたはカスタムファイル対応のCDチェンジャーの場合

名前を見ながら好きなディスクを選べます。CDについては、ディスクメモ機能(31ページ)で名前をつけてからこの機能を使います。

LIST

1 LISTボタンを短く押す。

LST 3▶SCHUBERT
4 BACH

再生中のディスク名に
▶が表示される

LIST

2 LISTボタンを押して聞きたいディスクの名前に▶を合わせる。

ボタンを押さないまま5秒を過ぎると、ふつうの表示に戻ります。

ENTER

6

3 数字ボタン6(ENTER)を押して再生する。

ご注意

- ・「NO Disc」: ディスクが入っていない
- ・「*****」: 名前が入っていない。
- ・「?」: 本機がディスク情報を読み込んでいない。
- ・別売りのTVチューナーとTVモニターを接続すると、名前はTVモニターだけに表示されます。この場合、上記手順1~3の操作はできなくなり、LISTボタンはリスト表示のON/OFF操作になります。

DSP

別売りのXDP-U50Dをつないで、プログラムソースにお好みの音場処理をすることができます。

別売りのXDP-U50DMK2をつないだ場合の操作は、XDP-U50DMK2に付属の取扱説明書をご覧ください。

サラウンド効果を選ぶ

DSP(デジタルシグナルプロセッサ)は音声信号をデジタル処理し、お好みの音場に変えることができます。

DSPには10種類のサラウンド効果が用意されています。音楽の雰囲気に合わせてサラウンド効果を選ぶと、車内で臨場感あふれる音を楽しめます。

種類	効果	種類	効果
<small>ホール</small> HALL	コンサートホールの雰囲気	<small>オペラ</small> OPERA	オペラハウスの雰囲気
<small>ジャズ</small> JAZZ	ジャズクラブの雰囲気	<small>チャーチ</small> CHURCH	残響音の多い教会の雰囲気
<small>ディスコ</small> DISCO	堅い壁と床のディスコの雰囲気	<small>スタジアム</small> STADIUM	野外スタジアムでのコンサートの雰囲気
<small>シアター</small> THEATER	映画館の雰囲気	<small>セラー</small> CELLAR	残響音の多い地下室の雰囲気
<small>パーク</small> PARK	広々とした野外の雰囲気	<small>デフィート</small> DEFEAT	通常の状態
<small>ライブ</small> LIVE	ライブハウスの雰囲気		

1 サラウンドを設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生する。



2 SOUNDボタンを押して「SUR」表示にする。



3 ダイヤルを回して設定したいサラウンド効果を選ぶ。
設定したサラウンド効果に切り換わります。

3秒後にふつうの表示に戻ります。

サラウンド効果の反射音・残響音を調節する



1 サラウンドを設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生する。

2 SOUNDボタンを表示が点滅するまで押す。



3 ダイヤルを回して設定したいサラウンド効果を選ぶ。



4 数字ボタン10(→)を押す。



5 ダイヤルを回して好みのレベル(0 ~ 100%)にする。

数字が大きくなるほどライブ感は強くなります。



6 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。

CDごとにサラウンド効果を登録する

ディスクごとにお好みのサラウンド効果を登録できます。この機能が使えるのは、ディスクメモ機能(31ページ)でディスクに名前をつけている場合です。

- 
1 CDを再生し、LISTボタンを2秒以上押す。
- 
2 LISTボタンを押してサラウンド効果表示にする。

CD2 --DEFEAT--
 1'5" 1:02
- 
3 ダイヤルを回して、好みのサラウンド効果を選ぶ
(一覧は34ページ)
- 
4 LISTボタンを2秒以上押して設定する。

登録したサラウンド効果で再生するには

- 1** SHIFTボタンを押して「P.MODE」を表示します。
 - 2** 数字ボタン9(P.MODE)を短く押して「D.File」表示にします。
 - 3** 数字ボタン10(→)を押して「D.File on」表示にします。
5秒後に、ふつうの表示に戻ります。
- 通常の再生に戻るには、手順2で「D.File off」表示にします。

登録したサラウンド効果を変えるには

登録の手順1-4を行います。

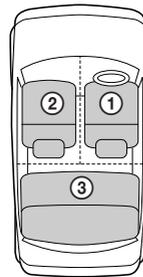
登録したサラウンド効果を消すには

登録の設定の手順3で「DEFEAT」表示にします。

リスニングポジションを選ぶ

聞き手の位置(リスニングポジション)に合わせて、各スピーカーからの音の到達時間を調節し、快適で自然な音像定位を可能にします。座っている位置が音場の中心になるよう5つのリスニングポジションから選べます。

表示	種類	音場の中心
LP1	ALL	通常の状態 (①、②、③)
LP2	FRONT	前方(①、②)
LP3	FRONT-R	前方右(①)
LP4	FRONT-L	前方左(②)
LP5	REAR	後方(③)



1 SOUND ボタンを短く押して「LP1」表示にする。



2 ダイヤルを回してリスニングポジションを選ぶ(上の一覧を参照)。

回すたびに切り換わります。

3秒後ディスプレイは、ふつうの表示に戻ります。

リスニングポジションを選ぶ(つづき)

リスニングポジションを微調節する

SOUND



1 SOUNDボタンを2秒以上押す。

SOUND



2 SOUNDボタンを押して調節するリスニングポジションを選ぶ。



10

3 数字ボタン10(→)を押す。



4 ダイヤルを回して音場の左右の中心を設定する。



L(左)方向へ移動

R(右)方向へ移動



10

5 数字ボタン10(→)を押す。



6 ダイヤルを回して音場の前後の中心を設定する。



R(後ろ)方向へ移動

F(前)方向へ移動

SOUND



7 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。

前後のスピーカーバランスを調節する

本機ではサラウンド効果を選んでいるときとふつうの状態(DEFEAT)それぞれでスピーカーバランスを調節できます。

サラウンド効果を選ぶとリスニングポジションの効果を高めるために、リアスピーカーの音量が自動的に小さくなります。リアスピーカーの音量を上げたいときには「FAD」(フェーダー)を調節してください。



1 SOUNDボタンを押して「FAD」表示にする。

2 ダイヤルを回してフェーダーを設定する。



R(後ろ)方向へ移動

F(前)方向へ移動

3秒後にふつうの表示に戻ります。

サブウーファーの音量を調整する

1 音量を設定したいソース（CD、MD、ラジオなど）を再生する。



2 SOUNDボタンを押して「SUB」表示にする。



3 ダイヤルを回して音量を調整する。

3秒後にふつうの表示に戻ります。

サブウーファーのカットオフ周波数の調整

サブウーファーから出力される音の

うち、中高域の周波数を除きます

（カットオフ）。サブウーファーは低い

周波数のみを出力し、明確な音場

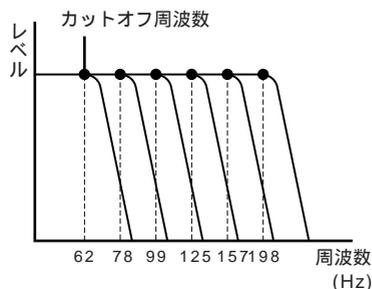
を作り出します。つないであるサブ

ウーファーの周波数特性に合わせて、

6種類のカットオフ周波数の中から

選びます。たとえば、62Hzを選ぶと、

62Hz以上の音が除かれます。



1 カットオフ周波数を設定したいソース（CD、ラジオなど）を再生する。



2 SOUNDボタンを2秒以上押す。



3 SOUNDボタンを押して「SUB」表示にする。



4 ダイヤルを回してカットオフ周波数を選ぶ。

62Hz → 78Hz → 99Hz → 125Hz* → 157Hz → 198Hz

* 初期値



5 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。

低音・高音の音量を調節する

1 音量を設定したいソース(CD、 MD、 ラジオなど)を再生する。



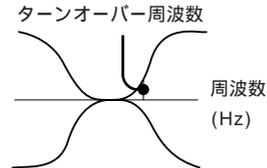
2 SOUNDボタンを押して「BAS」(低音)または「TRE」(高音)表示にする。



3 ダイヤルを回して音量を調整する。
3秒後ふつうの表示に戻ります。

ターンオーバー周波数を選ぶ

低音または高音を変化させたときの変化開始点の周波数のことをターンオーバー周波数といいます。ターンオーバー周波数は低音と高音で4種類ずつ用意されています。



1 ターンオーバー周波数を設定したいソース(CD、 MD、 ラジオなど)を再生する。

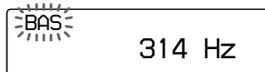


2 SOUNDボタンを2秒以上押す。

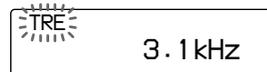


3 SOUNDボタンを押して「BAS」(低音)または「TRE」(高音)表示にする。

BAS(低音)設定の表示



TRE(高音)設定の表示



4 ダイヤルを回してカットオフ周波数を選ぶ。

BAS(低音): 198Hz → 250Hz → 314 Hz* → 396Hz

TRE(高音): 2.0kHz → 3.1 kHz* → 4.0kHz → 5.0kHz

*: 初期値



5 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。

前回と同じサラウンド効果で聞く

最後に選んだサラウンド効果をソースごとに記憶させることができます。途中でソースを切り換えたり電源を切ったりしても、前にそのソースを聞いたときと同じサラウンド効果およびイコライザーカーブで聞くことができます。

ラインアウトのレベルを選ぶ

音が割れて聞きづらいときにラインアウトのレベルを切り換えます。

-  1 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。
-  2 数字ボタン8 (SET UP)を押して「L.OUT」表示にする。
-  3 数字ボタン10 (→)を押して設定を選ぶ(-10dBまたは-16dB)。

テレビ・ビデオ

テレビやビデオはもちろん、チェンジャーに入っているCDやMDのタイトルをテレビ画面で見することもできます。

テレビを見るには別売りのチューナーとモニターを、ビデオを見るには別売りのビデオデッキとモニターをつないでください。

テレビを見る

TVチューナーユニットとTVモニターの取扱説明書に従って接続してください。あらかじめ、受信できる放送局を登録すると、簡単にチャンネルを選べます。

チャンネルを自動で登録する

最大10局まで登録できます。



1 SOURCEボタンを押して「TV」表示にする。



2 SHIFTボタンを押してから数字ボタン5(BTM)を押す。



受信できる放送局を探し始め、チャンネル順に数字ボタン1～10に割り当てます。

その他の操作

チャンネルを選ぶには	数字ボタン1～10を押す
強制的にモノラル受信するには	「ステレオ放送が聞きにくいとき(14ページ)と同じ手順を行う(ステレオ放送受信中)
副音声を聞くには	SHIFTボタンを押してから数字ボタン9(P.MODE)を短く押して「MAIN」表示にする。それから数字ボタン10(→)を押して「SUB」表示にする(2か国語放送受信中)
特定のチャンネルを登録するには	「特定の放送局を登録する(20ページ)と同じ手順を行う(手順1では、FM/AMの代わりにTVを選びます。)
テレビ局に名前をつけるには	「放送局に名前をつける(21ページ)と同じ手順を行う(手順1では、FM/AMの代わりにTVを選びます。)

テレビ・ビデオ

ビデオを見る

ビデオデッキとTVモニターの取扱説明書に従って接続してください。

SOURCE

1 SOURCEボタンを押して「AUX 1」を選ぶ。

ビデオをTVモニターのVIDEO2端子につないでいるときは、「Video 2」表示に切り換えます。

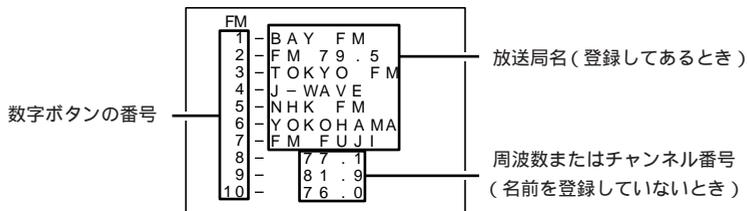
2 ビデオデッキのボタンでビデオを再生する。

ラジオ局・テレビ局の一覧を見る

プリセットしたテレビチャンネルやラジオ局をTV画面で一覧できます。

LIST

ラジオまたはテレビを受信中に、LISTボタンを短く押す。



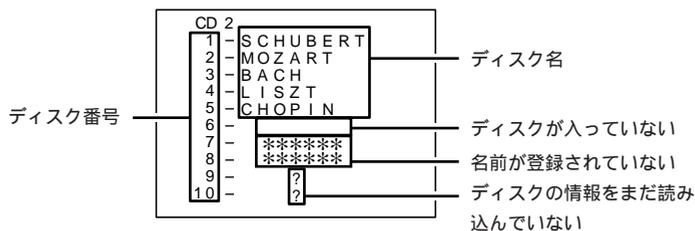
現在受信中の放送局は赤紫色で表示されます。一覧が出ている間は、テレビ画面は映りません。

表示を消すには、ラジオ受信中はもう1度LISTボタンを押します。テレビ受信中は、自動的にテレビ画面に戻ります。

CD/MDの情報を見る

ディスクの名前をTV画面で一覧できます。CDについては、ディスクメモ機能(31ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。

LIST 再生中にLISTボタンを短く押す。



現在再生中のディスクはCDは赤紫色、MDは黄色で表示されます。

一覧が出ている間は、テレビ画面は映りません。

表示を消すには、もう1度LISTボタンを押します。

CD/CD-ROM

音楽CDに加えてビデオCDやCD-Gをコントロールして画像を再生できます。別売りのCD/CD-ROMチェンジャーCDX-R61とバスシステム接続キットRC-130を本機に接続します。さらに画像を楽しむには、お手持ちのテレビモニターかナビシステムに接続してください。

音声を切り換える

音声多重ディスク(ビデオCDやCD-Gなどの一部)では、左右のチャンネルに別々の音声が録音されています。このようなディスクでは左右どちらか、片方のチャンネルの音を選んで左右両方のスピーカーで聞けます(このような場合音声はモノラルになります)。

本機でCD/CD-ROMチェンジャーの音声を切り換えるにはDSPLボタンによる操作ではなく以下のようにしてください。

-  **1** SHIFTボタンを押して「P.MODE」を表示する。
SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示が出ます。(「SET UP」、「P.MODE」など)
-  **2** 数字ボタン9(P.MODE)を押して、「Stereo」を表示する。
-  **3** 数字ボタン10(→)を押して「L mono」か「R mono」を選ぶ。
-  **4** 最後に、SHIFTボタンを押す。

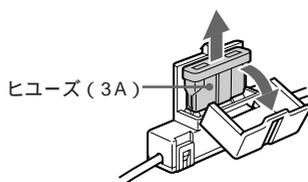
使用上のご注意

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、CDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申し付けください。

コンパクトディスクについて

- CDの汚れやゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



記録面に触れないように持つ。

ディスクに紙などを貼らない。
キズを付けない。

- 直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。



- 再生する前に、再生面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。

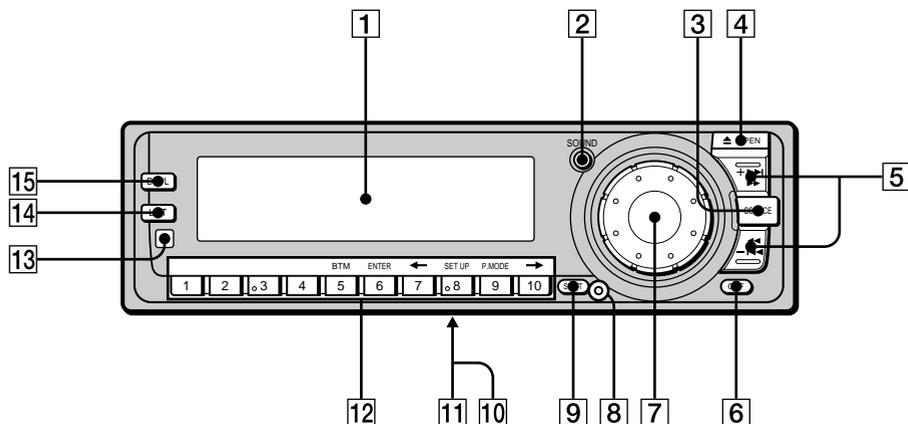


- ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にCDを傷めることがありますので、使用しないでください。

各部のなまえ

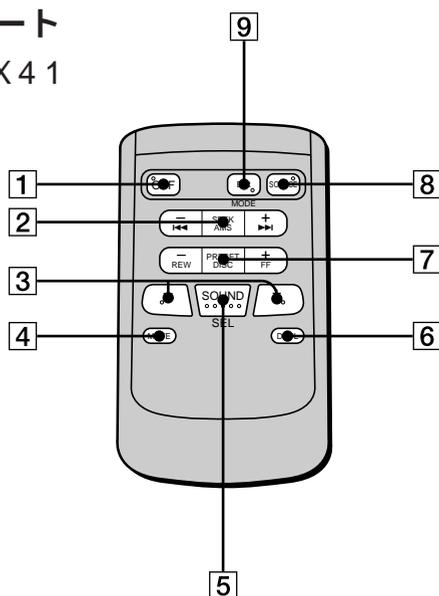
本体

内のページに詳しい説明があります。



- 1 表示窓
- 2 SOUND(音質調整)ボタン
サウンド
26 36 37 39 40 41 42 43
- 3 SOURCE(FM/AM/CD/MD/テレビ/ビデオ切り換え)ボタン
ソース
8 10 13 20 23 45 46
- 4 ▲/OPEN(CD取り出し/挿入)ボタン
イジェクト/オープン
10 11
- 5 SEEK/AMS(頭出し/ラジオ選局)ボタン
シーク/エーエムエス
11 14 15 18 20 33
- 6 OFF(電源切り)ボタン
オフ
11
- 7 VOL/BAS/TRE/BAL/FADダイヤル
ボリューム/バス/トレブル/バランス/フェーダー
7 21 26 31 36 37 38 39 40 41 42 43
- 8 リセットボタン
ソフト
6
- 9 SHIFTボタン
BTM 8 45
P.MODE 12 15 16 18 19 23 30 33 34 43
SET UP 7 27 42 44
- 10 パワーセレクトスイッチ(底面)
くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。
- 11 FM DIVERSITYスイッチ(底面)
エフエム ダイバーシティ
くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。
- 12 数字ボタン1～10
ラジオ 13 20
CD/MD 29
テレビ 45
- 13 リモコン受光部
リスト
- 14 LISTボタン
ラジオ 21
CD/MD 31 35
テレビ 46 47
DSP 38
- 15 DSPL(表示切り換え)ボタン
ディスプレイ
12 14 22 23 23 32

ワイヤレスリモート コマンダーRM-X41 (別売り)



- 1 オフ OFF (電源切り) ボタン
- 2 シーク/エーエムエス SEEK/AMS (頭出し/ラジオ選局) ボタン
- 3 + - ボタン
- 4 ミュート MUTE (音切り) ボタン
- 5 サウンド SOUND (音量調節/音質調整) ボタン
- 6 ディスプレイ DSPL (表示切り換え) ボタン

- 7 プリセット/ディスク PRESET/DISC ボタン
ラジオ... プリセットした局を選局
CD/MD... ディスク交換
- 8 ソース SOURCE (FM/AM/CD/MD/テレビ/ビデオ切り換え) ボタン
- 9 本機ではこのボタンは動きません。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

	症状	原因・処置
	音が出ない	<ul style="list-style-type: none">音量を上げてください。スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。イコライザー接続時にフェーダーがリア側になっている。 イコライザーなどを接続して使用するときは、本機のフェーダーはセンターに合わせてください。
共通	電源OFF時に時計表示にならない。	パワーセレクトスイッチが⑤になっている。 パワーセレクトスイッチを④にしてからリセットボタンを押してください。(アクセサリポジションのある車のみ)
	ラウドネスの効果がわからない。	大音量になっている。音量を下げてください。 ラウドネス効果は小音量時のみかかります。また、別売りのXDP-U50DまたはXDP-66EQまたはXDP-600EQ接続時はラウドネス機能は働きません。
	メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">リセットボタンを押した。動作電源コードまたはバッテリーをはずした。電源コードが正しく接続されていない。
	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	「ピッ」という音が出ない設定になっている(27ページ)。
CD	CDが入らない。 CDをいれてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none">すでに別のCDが入っている。CDを誤った向きに入れようとしている。 レーベル面を上に入れてください。
	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none">CDが汚れている。ディスクをクリーニングしてください。ディスクが傷ついている。本機の取り付け角度が20°を越えている。
	MD	音がとぶ。

	症状	原因・処置
ラジオ アンテナ ピレ	受信できない、 雑音しか出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ カーアンテナとの接続を確認してください。 ・ オートアンテナが上がっていない。パワーアンテナコントロールリードをANT/REM(青)コードに接続してください。 ・ 周波数を確認してください。
	SEEKボタンを押しても聞 きたい局で止まらない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「LCL」と表示されている場合は電波の強い周波数しか受信しません。表示を消してください(14ページ)。 ・ 電波が弱くて自動選局できない。SEEK/AMSボタンを押しつけて周波数を合わせてください。
DSP	音が出ない、 音が小さい	<p>XDP-U50D(別売り)を接続した場合は、リスニングポジションの設定の効果を高めるためにリアスピーカーの音量が自動的に小さくなります。</p> <p>DSP機能「入/切」それぞれの状態の前後スピーカーバランス設定をしてください。</p>

故障かな?(つづき)

CD/MDのエラー表示

CDチェンジャーやMDチェンジャーが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
Blank *	MDに何も録音されていない。	他のMDに入れ換える。
Error *	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
High temp	周囲の温度が50.0以上あり再生できない。	車内の温度が下がるのを待つ。
NO Disc	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO Mag	ディスクマガジンがチェンジャーに入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、チェンジャーに入れる。
Not ready	MDチェンジャーのフロントパネルが開いている。	フロントパネルを閉じる。
	CD/MDが入っていない。	CD/MDを入れる。
Push reset	何らかの原因でチェンジャーが動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

* ディスクマガジン内でエラーを起こしたディスク番号が表示されます。

保証書とアフターサービス

保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな?」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	105dB (71dB)
周波数特性	5~20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下
ひずみ率	0.003%

チューナー部

FM

受信周波数	76~90MHz(テレビ1~3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	8dBf
周波数特性	30~45,000Hz
SN比 50dB感度(IHF)	15dBf
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	62dB(ステレオ) 65dB(モノラル)
ひずみ率(1kHz)	0.9%(ステレオ) 0.5%(モノラル)
ステレオセパレーション	35dB以上(1kHz)
キャプチャレシオ	2dB

AM

受信周波数	522~1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	30μV

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	FMコンボジット出力端子、 フロント/リヤ音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子
本体寸法	約 78 x 50 x 177mm (幅 / 高さ / 奥行き)
取付寸法	約 78 x 50 x 164.5mm (幅 / 高さ / 奥行き)
質量	約1.8kg

付属品

ロータリーコマンダーRM-X2S
(1)

取り付け/接続部品(一式)
取扱説明書(一式)
ソニーご相談窓口のご案内(1)
保証書(1)

別売品

ワイヤレスリモートコマンダー
RM-X41

CDチェンジャー

CDX-81(10枚)
CDX-91(10枚)
CDX-T6(6枚)
CDX-T6(6枚)

CD/CD-ROMチェンジャー

CDX-R61(6枚)

MDチェンジャー MDX-60

FM文字多重放送ディスプレイ
ユニット FMX-77
TVチューナーユニット

XT-40V

ソースセレクター XA-C30など
デジタルプリアンプ

XDP-U50DMK2

グラフィックイコライザーミニ
ディスクプレーヤー

MDX-700EQ

グラフィックイコライザーCD

プレーヤー CSX-500EQ

バスケーブル(RCAピンコード
付属)

RC-61(1m)

RC-62(2m)

RCAピンコード

RC-63(1m)

RC-64(2m)

RC-65(5m)

バスシステム接続キット

RC-130

CDクリーニングキット

CDM-21BK

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

あ行

イントロ 12
エラー表示 53
音質
 サラウンド 36
 残響音 37
 反射音 37
 ラウドネス 27
音量 10、25、26

か行

カスタムファイル 31~34
カットオフ周波数 42
高音 26、43

さ行

サブウーファー 42
サラウンド 36~38
 DSPカスタムファイル 38
 ラストサウンドメモリー 44
CD/MD 28
 ディスク名の一覧 47
 名前で探す 35
 名前をつける 31
 名前を表示する 32
CD-G 48
シャッフル 12、30
ステレオ放送 14
スピーカーバランス 26、41
SET UP
 Amber 27
 Angle 27
 Beep 27
 Clock 7
 Contrast 27
 Green 27
 Loud 27
 RM 27

た行

ターンオーバー周波数 43
DSP 36~44
DSPカスタムファイル 38
低音 26、43
ディスクメモ 31
デジタルシグナル
 プロセッサー 36~44
テレビ 45~47
 チャンネルの一覧 46
 登録 45
 名前をつける 45
電源 11
登録
 自動登録 8、20
 テレビチャンネル 45
 ラジオ局 13、20
道路交通情報 20
時計 7
トレブル 26、43

な行

名前
 消去する 22、32
 つける 21、31、45
 表示する 22、32

は行

バス 26、43
バランス 26、41
バンク 33
ビデオ 46
ビデオCD 48
ヒューズ 49
表示窓
 CD/MD 10、28
 ラジオ 13

フェーダー 26
プログラムメモリー 15~19
ベストチューニング
 メモリー 8
ボタン音 27

ま、や行

モノラルモード 14

ら、わ行

ラウドネス 27
ラジオ 13
 局の一覧 46
 自動選局 14
 登録 8、20
 名前で探す 23
 名前をつける 21
 名前を表示する 14、22
ラストサウンドメモリー 44
リスニングポジション 39
リセット 6
リピート 12、29
リモコン
 ロータリーコマンダー
 9、24、27
 ワイヤレスリモートコマン
 ダー(平形) 51

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111